

THOMSON

DELPHION

RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

The Delphion Integrated View

Buy Now: ☒ PDF | [More choices...](#)Tools: Add to Work File: [Create new Wor](#)View: INPADOC | Jump to: [Top](#) ☒[Email](#)

🔍 Title: **JP2001265928A2: SYSTEM FOR NEWLY COLLECTING/SELLING SE
SYSTEM FOR DISTRIBUTING PROSPECTUS DATA AND SYSTEM FO
DISTRIBUTING ELECTRONIC DOCUMENT DATA**

🔍 Country: JP Japan

🔍 Kind: A2 Document Laid open to Public inspection i

🔍 Inventor: **NAGARA MAKOTO;**

🔍 Assignee: **NIKKO SECURITIES CO LTD**
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

🔍 Published / Filed: **2001-09-28 / 2000-03-17**

🔍 Application
 Number: **JP2000000075737**

🔍 IPC Code: **G06F 17/60;**🔍 Priority Number: **2000-03-17 JP2000000075737**

🔍 Abstract: **PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a securities newly
 collection/selling system capable of distributing a prospectus on the
 Internet.

SOLUTION: This system has a prospectus data storing part 11
 storing prospectus data about securities related to new
 collection/selling, a prospectus transmitting part 12 selectively
 downloading desired prospectus data in accordance with a request
 of an accessing customer, a browsing completion information
 storing part 13 making the browsing completion information on the
 prospectus on the basis of the download completion of the
 prospectus by the customer correspond to the customer to be
 stored, a purchase application acceptance/ rejection deciding part
 14 deciding the purchase application acceptance/rejection of
 corresponding securities based on whether or not the prospectus is
 subjected to browsing completion in the case of receiving an order
 from the customer, and a data providing part 16 transferring a
 purchase instruction of the securities being the browsing completion
 object or the received part of the securities purchase instruction
 from a book building winning customer to a securities order
 processing system.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

🔍 Family: None

🔍 Other Abstract
 Info: None





[Nominate](#)



[this for the Gallery...](#)

© 1997-2004 Thomson

[Research Subscriptions](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact Us](#) | [Home](#)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-265928

(P2001-265928A)

(43)公開日 平成13年9月28日(2001.9.28)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)	
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 C	5 B 0 4 9
	1 2 4		1 2 4	5 B 0 5 5
	2 0 2		2 0 2	
	3 0 2		3 0 2 C	
	3 1 8		3 1 8 Z	

審査請求 未請求 請求項の数9 OL (全10頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-75737(P2000-75737)

(22)出願日 平成12年3月17日(2000.3.17)

(71)出願人 592115629

日興證券株式会社

東京都千代田区丸の内3丁目3番1号

(72)発明者 長柄 真

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 日

興證券株式会社内

(74)代理人 100104215

弁理士 大森 純一 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 AA01 BB47 CC05 DD05 EE05

FF03 FF09 GG04 GG07

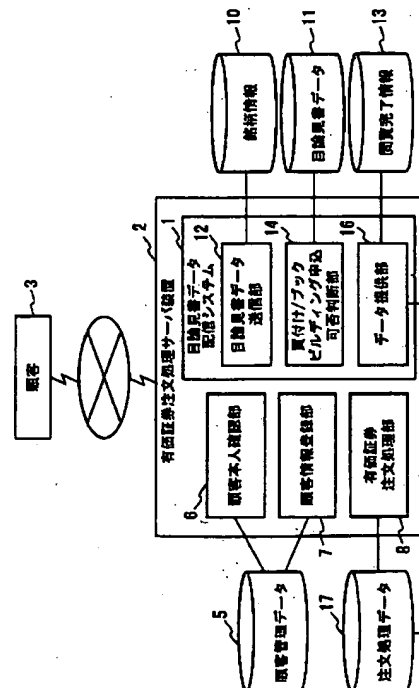
5B055 CA00 CB05 EE02

(54)【発明の名称】 有価証券の新規募集/売り出しシステム、目論見書データ配信システム及び電子文書データ配信システム

(57)【要約】

【課題】 インターネット上で目論見書を配布できる有価証券の新規募集/売り出しシステムを提供する。

【解決手段】 新規募集/売り出しに係る有価証券についての目論見書データを格納する目論見書データ格納部11と、アクセスした顧客の要求に応じて、所望の目論見書データを選択的にダウンロードさせる目論見書送信部12と、顧客による前記目論見書のダウンロードが完了したことに基く目論見書の閲覧完了情報を前記前記顧客に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部13と、顧客から注文を受けた際に、目論見書が閲覧完了済みであるかに基いて当該有価証券の買付け申し込み可否を判断する買付け申込可否判断部14と、前記閲覧完了対象の有価証券の買付け指示又はブックビルディング当選顧客からの有価証券の買付け指示の受付分を有価証券注文処理システムへ受け渡すデータ提供部16とを有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 新規募集／売り出しに係る有価証券についての目論見書データを当該有価証券の銘柄情報に関連付けて格納する目論見書データ格納部と、アクセスした顧客の要求に応じて、所望の新規募集・売り出しに係る有価証券の目論見書データを、前記目論見書データ格納部から選択的にダウンロードさせる目論見書送信部と、顧客による前記目論見書のダウンロードが完了したことに基いて、当該有価証券に関する目論見書の閲覧完了情報を前記前記顧客に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部と、顧客から所定の有価証券の買付け指示又はブックビルディングへの申し込みを受け付けた際に、前記閲覧完了情報格納部にアクセスし、当該有価証券の目論見書が閲覧完了済みであるかに基いて有価証券の買付け又はブックビルディングへの申し込み可否を判断する買付け申込可否判断部と、前記閲覧完了対象の有価証券の買付け指示又はブックビルディング当選顧客からの有価証券の買付け指示の受付分を有価証券注文処理システムへ受け渡すデータ提供部とを有する有価証券の新規募集／売り出しシステム。

【請求項2】 請求項1記載の新規募集／売り出しシステムにおいて、アクセスした顧客の本人確認を行なう顧客本人確認部をさらに有することを特徴とする新規募集／売り出しシステム。

【請求項3】 請求項1記載の新規募集／売り出しシステムにおいて、前記目論見書データ格納部は、目論見書データを所定のサイズに分割し、それらを所定の順序に関連付けて格納するものであることを特徴とする有価証券の新規募集／売り出しシステム。

【請求項4】 新規募集／売り出しに係る有価証券についての目論見書データを当該有価証券の銘柄情報に関連付けて格納する目論見書データ格納部と、アクセス者の要求に応じて、所望の新規募集・売り出しに係る有価証券の目論見書データを、前記目論見書データ格納部から選択的にダウンロードさせる目論見書送信部と、前記アクセス者による前記目論見書のダウンロードが完了したことに基いて、当該有価証券に関する目論見書の閲覧完了情報を前記アクセス者に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部と、前記閲覧完了情報格納部にアクセスし、前記アクセス者について当該有価証券の目論見書の閲覧が完了しているかの情報を提供する閲覧完了情報提供部とを有することを特徴とする目論見書データ配信システム。

【請求項5】 請求項4記載の目論見書データ配信システムにおいて、

前記目論見書送信部は、前記アクセス者が、当該有価証券の募集／売り出し窓口会社において顧客であると判断されたことに基いて前記アクセス者に目論見書データをダウンロードさせるものであることを特徴とする目論見書データ配信システム。

【請求項6】 請求項4記載の目論見書データ配信システムにおいて、

前記閲覧完了情報提供部は、当該有価証券の募集／売り出し窓口会社からの照会に基いて、当該窓口会社の顧客についての目論見書閲覧完了データを提供するものであることを特徴とする目論見書データ配信システム。

【請求項7】 請求項4記載の目論見書データ配信システムにおいて、

前記目論見書データ格納部は、目論見書データを所定のサイズに分割し、それらを所定の順序に関連付けて格納するものであることを特徴とする目論見書データ配信システム。

【請求項8】 所定の電子文書データを格納する電子文書データ格納部と、

アクセス者の要求に応じて、所望の電子文書データを選択的にダウンロードさせる電子文書データ送信部と、

前記アクセス者による前記電子文書データのダウンロードが完了したことに基いて、当該電子文書の閲覧完了情報を前記アクセス者に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部と、

前記閲覧完了情報格納部にアクセスし、前記アクセス者について当該電子文書の閲覧が完了しているかの情報を提供する閲覧完了情報提供部とを有することを特徴とする電子文書データ配信システム。

【請求項9】 請求項8記載の電子文書データ配信システムにおいて、

前記電子文書データ格納部は、前記電子文書データを所定のサイズに分割し、それらを所定の順序に関連付けて格納するものであることを特徴とする電子文書データ配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えば、インターネットを利用し、オンラインで有価証券の新規募集／売り出しを行なうための有価証券の新規募集／売り出しシステム、目論見書データ配信システム及び電子文書データ配信システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】証券取引法上では、不特定多数の投資家に対する有価証券の募集／売り出しに際し、投資家に対して事前に当該有価証券の目論見書を交付する義務を課している。このため、当該有価証券の引受証券会社では、顧客の要求に応じて店頭窓口での手渡ししか郵送の形式で投資家へ目論見書を配布するようにしている。

【0003】ここで、目論見書とは、有価証券の募集有

価証券の募集・売り出しのために一般投資家に提供されるもので、当該有価証券の発行者の事業や財務状態及び発行条件等を説明するための文書である。新規公開企業の場合、そのボリュームは100ページをゆうに超えるものとなるのが一般的である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、近年、インターネットを通じたオンライン証券取引が盛んになっている。オンライン証券取引とは、個人投資家が事前登録したIDと暗証番号で証券会社にインターネット経由でアクセスし、自分の判断で、好きな時間に自宅等から株式や投信の売買注文を出せるというものである。また、このオンライン証券取引によれば、証券会社としての運用コストが低減できるので、1999年10月の株式委託手数料が自由化されて以来、手数料の低額化によって、各オンライン証券会社とも顧客数を大幅に伸ばしている。

【0005】しかしながら、インターネットにより有価証券の新規募集／売り出しを行なう場合には、目論見書の送信に一定の技術が必要であるのみならず、買付け指示を出した本人が本当に当該目論見書を受領したかの確認を取ることが難しいということがある。このため、インターネットを通じたオンラインによる有価証券の新規募集／売り出しは行なわれていないのが現状である。

【0006】この発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、インターネット上で目論見書を配布でき、これに基づいて投資家の買付け指示等を処理できる有価証券の新規募集／売り出しシステム等を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、この発明の第1の主要な観点によれば、新規募集／売り出しに係る有価証券についての目論見書データを当該有価証券の銘柄情報に関連付けて格納する目論見書データ格納部と、アクセスした顧客の要求に応じて、所望の新規募集・売り出しに係る有価証券の目論見書データを、前記目論見書データ格納部から選択的にダウンロードさせる目論見書送信部と、顧客による前記目論見書のダウンロードが完了したことに基いて、当該有価証券に関する目論見書の閲覧完了情報を前記前記顧客に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部と、顧客から所定の有価証券の買付け指示又はブックビルディングへの申し込みを受け付けた際に、前記閲覧完了情報格納部にアクセスし、当該有価証券の目論見書が閲覧完了済みであるかに基いて有価証券の買付け又はブックビルディングへの申し込み可否を判断する買付け申込可否判断部と、前記閲覧完了対象の有価証券の買付け指示又はブックビルディング当選顧客からの有価証券の買付け指示の受付分を有価証券注文処理システムへ受け渡すデータ提供部とを有する有価証券の新規募集／売り出しシステムが提供

される。

【0008】このような構成によれば、例えばインターネットを通してオンラインで有価証券の新規募集／売り出しを行なう場合であっても、投資家に目論見書を交付し、当該投資家がこれを閲覧したことに基いて買付け指示若しくはブックビルディングの処理を行なうことが可能になる。なお、上記システムにおいて、顧客による前記目論見書のダウンロードが完了したことの判断は、例えば、顧客が画面上で閲覧確認ボタンを押したことに基いて行なうようにしても良い。

【0009】1の実施形態によれば、この新規募集／売り出しシステムは、アクセスした顧客の本人確認を行なう顧客本人確認部をさらに有する。このような構成によれば、各証券会社の顧客データ（当該証券会社に口座を有する者のデータ）に基く本人確認に基いて、所定の処理を行なうので、当該有価証券の引き受け窓口になっている証券会社において、前記新規募集／売り出し処理が円滑に行なえる。

【0010】1の実施形態によれば、新規募集／売り出しシステムにおいて、前記目論見書データ格納部は、目論見書データを所定のサイズに分割し、それらを所定の順序に関連付けて格納するものであることを特徴とする有価証券の新規募集／売り出しシステムが提供される。ここで、新規公開企業の目論見書は概ね100ページを超える枚数となり、これを光学スキャナで読み込んで電子化すると保存方式や資料の濃淡にもよるが数メガバイトのファイルサイズとなる。このようなファイルをネットワークで配信すると、受信者側の通信環境にもよるが、完全なファイルとして正しくダウンロードできないことが頻発する可能性がある。しかしながら、上記の構成によれば、目論見書データを複数のファイルに分割して供給することができるから、目論見書のダウンロードを確実に行なわせることが可能になる。

【0011】また、この発明の第2の主要な観点によれば、新規募集／売り出しに係る有価証券についての目論見書データを当該有価証券の銘柄情報に関連付けて格納する目論見書データ格納部と、アクセス者の要求に応じて、所望の新規募集・売り出しに係る有価証券の目論見書データを、前記目論見書データ格納部から選択的にダウンロードさせる目論見書送信部と、前記アクセス者による前記目論見書のダウンロードが完了したことに基いて、当該有価証券に関する目論見書の閲覧完了情報を前記アクセス者に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部と、前記閲覧完了情報格納部にアクセスし、前記アクセス者について当該有価証券の目論見書の閲覧が完了しているかの情報を提供する閲覧完了情報提供部とを有する目論見書データ配信システムが提供される。ここで、前記目論見書送信部は、前記アクセス者が、当該有価証券の募集／売り出し窓口会社において顧客であると判断されたことに基いて前記アクセス者に目論見書データをダ

ウンロードさせるものであることが好ましい。

【0012】このような構成によれば、例えばインターネットを通してオンラインで有価証券の新規募集／売り出しを行なう場合に、投資家に目論見書を交付し、その閲覧が完了した事を示す情報を必要に応じて提供することができる。

【0013】1の実施形態によれば、前記前記閲覧完了情報提供部は、当該有価証券の募集／売り出し窓口会社からの照会に基づいて、当該窓口会社の顧客についての目論見書閲覧完了データを提供するものである。

【0014】このような構成によれば、複数の証券会社が引受け窓口となっている有価証券の目論見書データ配信を、例えば、1つの機関で代理して行なうことも可能になる。

【0015】また、1の実施形態によれば、前記目論見書データ格納部は、目論見書データを所定のサイズに分割し、それらを所定の順序に関連付けて格納するものである。このような構成によれば、大容量ファイルサイズとなる目論見書データを複数のファイルに分割して供給することができるから、目論見書のダウンロードを確実に行なわせることが可能になる。

【0016】この発明の第3の主要な観点によれば、所定の電子文書データを格納する電子文書データ格納部と、アクセス者の要求に応じて、所望の電子文書データを選択的にダウンロードさせる電子文書データ送信部と、前記アクセス者による前記電子文書データのダウンロードが完了したことに基いて、当該電子文書の閲覧完了情報を前記アクセス者に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部と、前記閲覧完了情報格納部にアクセスし、前記アクセス者について当該電子文書の閲覧が完了しているかの情報を提供する閲覧完了情報提供部とを有することを特徴とする電子文書データ配信システムが提供される。ここで、前記電子文書データ格納部は、前記電子文書データを所定のサイズに分割し、それらを所定の順序に関連付けて格納するものであることが好ましい。

【0017】このような構成によれば、文書データの閲覧情報を統一的に管理することが可能になる。また、大容量ファイルサイズとなる電子文書データを複数のファイルに分割して供給することができるから、目論見書のダウンロードを確実に行なわせることが可能になる。

【0018】なお、この発明の他の特徴と顕著な効果は、次の発明の実施の形態の説明と添付した図面によって、より明確にされる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。

【0020】図1は、この実施形態に係る有価証券の新規募集／売り出しシステムを示す概略構成図である。

【0021】このシステムは、例えば、証券販売窓口会社が管理する有価証券注文処理サーバ装置2と、この内

部に設置された目論見書データ配信システム1とを有する。

【0022】このサーバ装置2は、有価証券の買付け申込をする顧客3からのアクセスを、例えばインターネット等の通信網を通して受け付けるように構成されている。また、このサーバ装置2は、アクセスした顧客3の本人確認を顧客管理データ格納部5内のデータに基いて行なう顧客本人確認部6と、アクセスした者が顧客管理データ格納部5内に登録されていない場合に、当該アクセス者を顧客として登録する顧客情報登録部7とを有する。さらに、このサーバ装置2は、本人確認された顧客3からの有価証券買付け注文を、注文処理データ格納部17に格納されたデータに基づいて順次処理するための有価証券注文処理部8とを有する。

【0023】一方、前記目論見書データ配信システム1は、新規募集／売り出しに係る有価証券の銘柄情報を格納する証券銘柄情報格納部10と、前記新規募集／売り出しに係る有価証券についての目論見書データを前記銘柄情報に関連付けて格納する目論見書データ格納部11と、前記本人確認部6で本人確認された顧客3の要求に応じて、所望の新規募集／売り出しに係る有価証券の目論見書データを、前記目論見書データ格納部11から選択的にダウンロードさせる目論見書送信部12と、顧客による前記目論見書のダウンロードが完了したことに基いて、当該有価証券に関する目論見書の閲覧完了情報を前記前記顧客に関連付けて格納する閲覧完了情報格納部13と、顧客から所定の有価証券の買付け指示又はブックビルディングへの申し込みを受け付けた際に、前記閲覧完了情報格納部13にアクセスし、当該有価証券の目論見書が閲覧完了済みであるかに基いて有価証券の買付け又はブックビルディングへの申し込み可否を判断する買付け申込可否判断部14と、前記閲覧完了対象の有価証券の買付け指示又はブックビルディング当選顧客からの有価証券の買付け指示の受付分を有価証券注文処理データ格納部17へ受け渡すデータ提供部16とを有する。

【0024】以下、上記各構成要素の機能を図2以下を参照して詳しく説明する。なお、図2中、S1～S10で示すのは、処理の順序を示すステップ番号である。

【0025】まず、図2に示すように、顧客3は、新規募集／売り出しに係る有価証券を購入するために、当該有価証券の受け入れ窓口である証券会社のサーバ装置2にインターネット網を介して接続する（ステップS1）。サーバ装置2は、前記顧客3の端末上で起動されたブラウザ上に、図3に示すように、支店一口座番号及びパスワードの入力欄20、21を表示させる。そして、その入力値を前記顧客管理データ格納部5に格納されたデータと照合することで当該アクセス者を特定すると共に、当該証券会社の顧客であることを確認する。なお、新規顧客の場合には、前記顧客情報登録部7によ

て前記顧客管理データ格納部5に顧客登録した上でログインを許可するようになっている。

【0026】について、顧客3は、図4に示すようなメニュー画面から、目論見書メニュー22を選択する。このことで、前記サーバ装置2は、図5に示すような目論見書検索画面をブラウザ上に表示させる。この画面において、顧客3が、市場区分23及び発行種別24をプルダウン式に選択し、検索ボタン25を押すことで、前記サーバ装置2は、前記銘柄情報格納部にアクセスし、該当する市場及び発行種別における新規募集／ブックビルディング募集銘柄の一覧26を表示する（ステップS2）。

【0027】顧客3は、この一覧26から、参照したい目論見書のチェックボックス27をチェックした上で、資料請求ボタン28（目論見書請求ボタン）を押すことで、当該選択に係る銘柄についての目論見書請求指令が前記サーバ装置2内の目論見書データ配信システム1に送信される（ステップS3）。

【0028】目論見書データ配信システム1の前記目論見書データ送信部14は、この指令に基いて、当該銘柄に係る目論見書データを前記目論見書データ格納部11から取り出し、前記顧客3の端末装置に送信する（ステップS4）。具体的には、顧客3が図6に示す資料請求ボタン28を押すことで、当該目論見書データを閲覧するためのソフトウェアが顧客端末装置上で起動され、図7に示すように選択に係る目論見書データを表示する。

【0029】この目論見書データは、この例では、01～07の7つの文書に分割され、この順で関連付けられた状態で前記目論見書データ格納部11内に格納されており、データ送信の際には、この順で取り出されて顧客3に送信される。図7は、1番目の文書が表示されている状態であるが、画面右側に表示された01～07のタブを順にクリック若しくはダブルクリックすることで、全ての文書を開くことができる。これら全データがダウンロードされたこと、若しくは、全ての文書を実際に開いたことに基いて、顧客3の端末上には、図8に示す確認ダイアログボックス30が表示される。

【0030】ここで顧客3が受領確認ボタン31を押すことによって、当該受領完了データが、当該顧客管理データ及び銘柄情報に関連付けられて格納される（ステップS5）。

【0031】について、顧客3が、有価証券の注文／ブックビルディングの申込をする場合には、前記閲覧完了情報格納部13を参照して注文／ブックビルディングの申込の可否を判断する（ステップS6、S7）。すなわち、前記買付け／ブックビルディング申込可否判断部14は、注文に係る有価証券の銘柄情報に基づいて前記閲覧完了情報格納部13にアクセスし、当該有価証券の目論見書の閲覧が完了しているかを判断する（ステップS8）。

【0032】ここで、閲覧が完了していると判断された場合には、当該注文／ブックビルディングの申込データが注文処理データ格納部17に送信され（ステップS9）、所定の注文処理若しくはブックビルディングのための処理が実行される（ステップS10）。

【0033】このような構成によれば、例えばインターネットを通してオンラインで有価証券の新規募集／売り出しを行なう場合であっても、投資家に目論見書を交付し、当該投資家がこれを読覧したことに基いて買付け指示若しくはブックビルディングの処理を行なうことが可能になる。

【0034】また、このような構成によれば、各証券会社の顧客データ（当該証券会社に口座を有する者のデータ）に基く本人確認に基いて、目論見書閲覧、買付け注文、ブックビルディング応募、及びそれらの処理が、一連の動作の中でスムーズに行なえる。これにより、当該有価証券の引き受け窓口になっている証券会社において、前記新規募集／売り出し処理が円滑に行なえる。

【0035】また、この実施形態によれば、目論見書のダウンロードを確実にこなわせることが可能になる。すなわち、新規公開企業の目論見書は概ね100ページを超える枚数となり、これを光学スキャナで読み込んで電子化すると数メガバイトのファイルサイズとなる。このようなファイルをネットワークで配信すると、受信者側の通信環境にもよるが、完全なファイルとして正しくダウンロードできないことが頻発する可能性がある。しかしながら、上記の構成によれば、目論見書データを複数のファイルに分割して供給することができるから、目論見書のダウンロードを確実にこなわせることが可能になる。

【0036】なお、この発明は上記一実施形態に限定されるものではなく、発明の要旨を変えない範囲で、種々変形可能である。

【0037】例えば、上記一実施形態では、前記目論見書データ配信システム1は、証券会社の有価証券注文処理サーバ装置2内に設置されていたが、これに限定されるものではない。図9に示すように、前記目論見書データ配信システム1は、複数の証券会社のサーバ装置2と接続可能なデータ配信処理機関40に設置されていても良い。

【0038】この場合、顧客3は、まず、各証券会社（A～Cのいずれか）のサーバ装置2に接続し、前述した目論見書請求ボタン28を押すことで、前記データ配信処理機関40から前記目論見書データの配信を受ける。このデータ配信処理機関40の配信システム1では、図に41で示す目論見書閲覧完了判断部が、前記目論見書の全データのダウンロードが終了したことに基いて、図8に示したのと同様の確認ダイアログボックス30を顧客3のブラウザ上に表示させる。そして、顧客が前記確認ボタン31を押したことに基いて、前記顧客3

についての閲覧完了情報を前記閲覧完了情報格納部13に格納する。ついで、データ提供部16が、顧客3がアクセスした証券会社のサーバ装置2にこの閲覧完了情報を提供するようになっている。

【0039】このような構成によれば、当該有価証券の新規募集引受け窓口となる証券会社が複数ある場合であっても、目論見書データの配信元を1カ所に集中させることができるから、各証券会社におけるコンピュータ資源が節約でき、かつ処理の効率化を図ることができる。

【0040】また、上記一実施形態では、有価証券の新規募集／ブックビルディングに係る目論見書の配信を例に挙げたが、これに限定されるものではなく、電子文書データであれば、他の書類についても応用可能である。そして、このシステムを例えば、図9に示したデータ配信処理機関40で、目論見書を含めたあらゆる電子文書を一元的に管理・配信するにすれば、証券会社その他の者は、自己で電子文書を管理することなく、アクセス者が当該電子文書をダウンロードし閲覧したかの情報を受け取ることができる効果がある。

【0041】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、例えばインターネットを通してオンラインで有価証券の新規募集／売り出しを行なう場合であっても、投資家に目論見書を交付し、当該投資家がこれを閲覧したことに基いて買付け指示若しくはブックビルディングの処理を行なうことが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施形態を示す概略構成図。

【図2】同じく、処理手順を説明するためのフロー図。

【図3】同じく、顧客確認インタフェースの一例を示す図。

【図4】同じく、メニュー選択画面の一例を示す図。

【図5】同じく、目論見書検索画面の一例を示す図。

【図6】同じく、目論見書を選択しダウンロードするための画面の一例を示す図。

【図7】同じく、目論見書閲覧画面の一例を示す図。

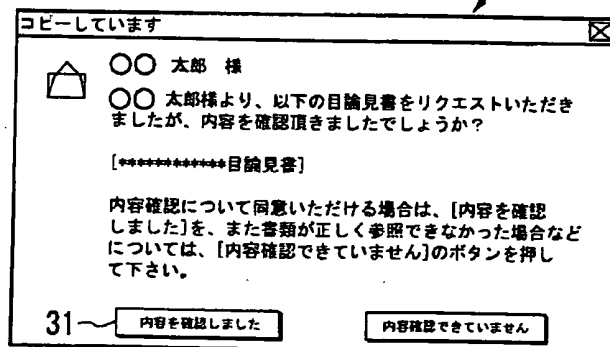
【図8】同じく、目論見書閲覧確認ダイアログの一例を示す図。

【図9】この発明の他の実施形態を示す概略構成図。

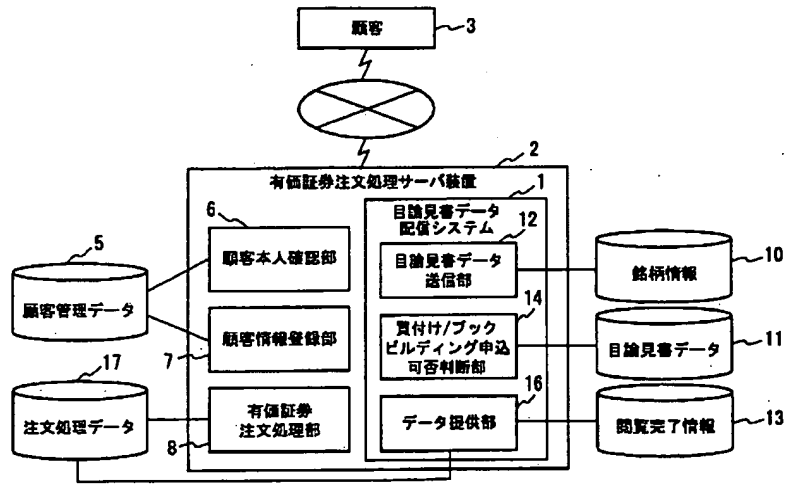
【符号の説明】

- 1…目論見書データ配信システム
- 2…有価証券注文処理サーバ装置
- 3…顧客
- 5…顧客管理データ格納部
- 6…顧客本人確認部
- 7…顧客情報登録部
- 8…有価証券注文処理部
- 10…証券銘柄情報格納部
- 11…目論見書データ格納部
- 12…目論見書送信部
- 13…閲覧完了情報格納部
- 14…買付け／ブックビルディング申込可否判断部
- 16…データ提供部
- 17…有価証券注文処理データ格納部
- 20、21…入力欄
- 22…目論見書メニュー
- 23…市場区分
- 24…発行種別
- 25…検索ボタン
- 26…目論見書一覧
- 27…チェックボックス
- 28…資料請求ボタン
- 30…確認ダイアログ
- 31…受領確認ボタン
- 40…データ配信処理機関
- 41…目論見書閲覧完了判断部

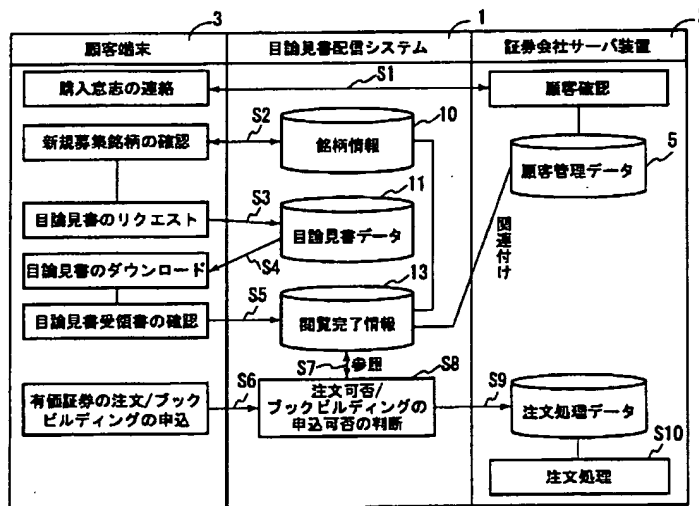
【図8】



【図1】



【図2】



【図3】

〇〇証券 口座確認画面

支店番号 口座番号

パスワード

確認

支店番号・口座番号・パスワードを入力し、
確認ボタンをクリックして下さい。

【図4】

〇〇証券 お客様サービスメニュー

お客様名 〇〇太郎 様
111-234567

時価情報サービス	投資情報サービス	ご注文・約定照会
登録銘柄時価照会	市場概況	株式注文
個別株式時価照会	アナリストレポート	
転換社債時価照会		

計算サービス	口座管理	資料請求
売買代金計算	口座残高照会	商品パンフレット
損益分岐点計算	運用シミュレーション	目録見書
ポートフォリオ分析	生涯設計	

お問合せ

【図5】

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス

〇〇証券 目録見書参照

お客さま名 〇〇太郎 様
111-234567

サービスメニュー

目録見書

確認する目録見書を「検索」して下さい

目録見書検索
証券コード
市場区分
発行種別

23 証券コード
24 市場区分
25 発行種別

コード	銘柄名	市場区分	発行種別
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			

検索

お問合せ

【図6】

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

アドレス

〇〇証券 目録見書参照

お客さま名 〇〇太郎 様
111-234567

サービスメニュー

目録見書

確認する目録見書を「検索」し必要な銘柄にチェックをつけて「資料要求」して下さい

目録見書検索
証券コード
市場区分
発行種別

26 証券コード
27 市場区分
28 発行種別

コード	銘柄名	市場区分	発行種別
<input type="checkbox"/>	1111 ****水産	東証マザーズ	新証上場
<input type="checkbox"/>	1112 ****商事	店頭	新規公開
<input type="checkbox"/>	2222 ****建設	店頭	新規公開
<input type="checkbox"/>	2300 ***通信	東証一部	株式売り出し
<input type="checkbox"/>	2400 ****		
<input type="checkbox"/>	3000 ****		
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			

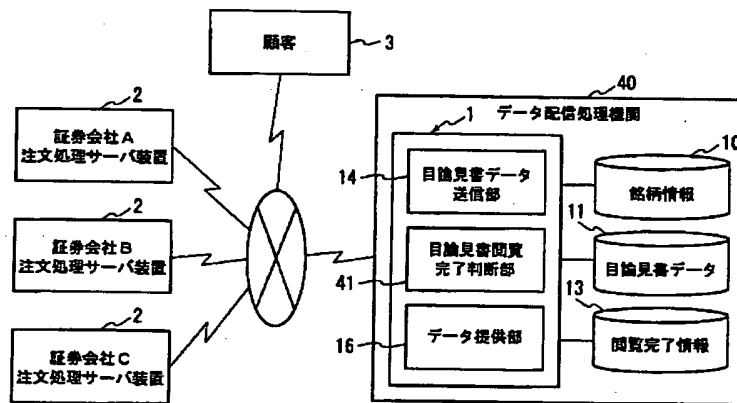
検索

資料要求

お問合せ

【図7】

【図9】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60識別記号
4 1 4
5 0 2F I
G 0 6 F 17/60

キーワード(参考)

4 1 4
5 0 2